

2025 年 11 月 4 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

豊田通商株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一）は、豊田通商株式会社（取締役社長 ^{いまい としみつ} 今井 斗志光）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本ローンにおいては、以下の SPT 達成状況に応じて利率が変化します。

- KPI : CDP（気候変動）スコア（CDP スコア統合後は統合後のスコア）
- SPT : 達成判定までの期間にわたり CDP（気候変動）スコア A-以上を維持
（CDP スコア統合後は統合後のスコア A-以上を維持）

同社グループは、「未来の子供たちにより良い地球を届ける」という Mission の実現に向け、GHG 排出量削減目標の達成を目指し、脱炭素社会の実現に貢献しています。

具体的には、2050 年の実質ネットゼロ達成に向け、2025 年 7 月に、サプライチェーンを含むバリューチェーン全体の GHG 排出について、2030 年までの短期目標（1.5℃水準）を設定（Scope1 および Scope2 の排出量を 2019 年比で 50%削減、Scope 3 の排出量を 2019 年比で 27.5%削減）するとともに、Scope1、2、3 すべてを含めた野心的かつ包括的な 2050 年までのネットゼロ目標を設定し、「ネットゼロ宣言」として公表しています。なお、これらの目標設定は、SBT 認定を取得しています。

また、2025 年 2 月には、CDP より、「気候変動」、「フォレスト」、「水セキュリティ」の 3 部門で最高評価である「A リスト」企業に選定されており、「気候変動」、「フォレスト」については、2 年連続で「A リスト」企業に選定されています。

【本ローンの概要】

実行日	2025 年 10 月 31 日
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行
資金用途	事業資金

また、本ローンは、サステナビリティ・リンク・ローン原則に準拠している旨、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より第三者意見書を取得している「三菱 UFJ 銀行グリーン及びサステナビリティ・リンク・ファイナンスフレームワーク」に則って実行しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする

全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上